

心身の成長が滞る「発達障害」

湖国の人たち

オピニオン '09

学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、高機能自閉症など、心身の機能の成長が滞ってしまう「発達障害」。知能発達に遅れがなく、障害の程度も人によって違うため、周囲の理解が得られずに不登校や引きこもりになるケースも多いという。それらを防ぎ、発達障害がある人とかかわっていくためにはどうすればよいのだろうか。学習塾「アットスクール」を経営しながら、発達障害児らの支援に取り組む鈴木正樹さん(42) 草津市に聞いた。

【南文枝】

—なぜ、今の仕事にやADHD、自閉症などに分けられますが、それぞれの症状が重なり合っている場合もあります。

学習塾で働いていた時に、発達障害の専門家らと出会い、勉強会や研修に参加するようになったのが始まりです。その前は、商社で社員教育をしていたのですが、他人とのコミュニケーションがうまくとれない、数字を見るのがストレスになる、いろいろな人がいました。塾に転職しても本人は努力しているのに勉強が追いつかなかったりするケースがあって、不思議に思っていました。だから、発達障害のことを知って目かどうかが落ちましたね。

—発達障害について詳しく教えてください。

一言で言うと、「見え方が違います。知能が低いわけではないのですが、

学習の一部分がどうしても決できないわけではありえない、もしくは自りません。漢字が読めないのルールに沿って取りふれば、書いてある内容の結果、学習が進まず、先生や親から「なんでできないの」と注意ばかりされるようになる。自分でも解決方法が分からず、ストレスがたまり、自信を失ってしまいます。

「自信を持たせる」が大切

具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

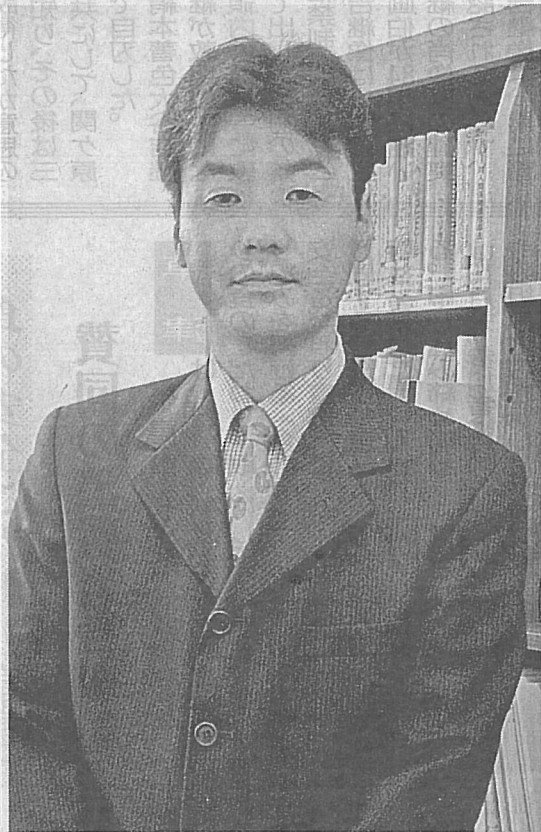
—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解

—具体的にはどのようなか。漢字が読めない、数字の桁をずらしてしまったり計算ができないなど、さまざまです。しかし、解



学習塾「アットスクール」社長
鈴木正樹さん(42) 草津市

理解が支援の第一歩

提言

発達に課題を持つ子どもたちは、人から誤解されたり対人関係をうまく築けなかったりして、自信を持っていないことが多い。人はそれぞれに得意、不得意があります。子どもたちの得意分野を伸ばすためにも、まずは、障害を正しく理解することが支援の第一歩。できることから始めましょう。

人数(4~6人)のグループで指導します。上の学年の子どもに「人に教える」という経験をさせ、自信をつけてもらうのです。

保護者や教師など身近な人はどう向き合っていけばよいのでしょうか。

発達障害がある子どもは、症状に気付いて支援をしてくれる人がいるかいないかで、その後の人生が大きく変わります。得意分野をほめて伸ばせば、どんどん成長します。子どもたちの「割合程度が何らかの障害を抱えている」と指摘する専門家もいます。まずは、障害の中心を正しく理解すること

です。

すずき・まさき 1967年、静岡県生まれ。商社で社員教育などに携わっていたが、学習塾に転職。教育相談員として、子どもや保護者らから学校生活や学習、対人関係などの相談を受けるうちに、不登校や発達障害の専門的支援の必要性を感じ、04年、草津市でアットスクールを創業。個別やグループでの学習指導やカウンセリング、社会で他人とかかわる技能の訓練など、発達障害児の支援に取り組む。アットスクール (077・565・7337)。